

第2回国際フォーラム

「越境する人文知」

2015年 **12**月**2**日(水) **39**号館第**5**会議室 **12**時**30**分~**15**時**00**分

早稲田に集う新進気鋭の訪問学者・交換研究員のみなさんに、本学での研究成果をご報告いただき、ともに議論する学术交流の場を設けました。領域を超え、国境を越えた知見の交換を通じて、新たな東アジアの人文の地平を開く一助としたいと思います。多くの研究者・学生の皆様のご参加を期待しています。

主催:総合人文科学研究センター研究部門「東アジアの人文知」

開会の挨拶 千野拓政(文学学術院教授)

1. 劉晏 (浙江師範大学副教授)

12時35分~13時10分

証拠性モダリティ表現について (日本語)

コメンテーター:胡偉 (東北財経大学講師)

2. ペドロ・エルバー (コーネル大学准教授)

13時10分~13時45分

経済化する美術から美学化する経済へ (日本語)

コメンテーター:鳥羽耕史 (文学学術院教授)

3. 張広海 (浙江大学副教授)

13時45分~14時30分

魯迅と早期左連の関係について (中国語、通訳あり)

コメンテーター:千野拓政 (文学学術院教授)

◇研究発表後、自由討論◇

14時30分~14時55分

閉会の挨拶 鳥羽耕史(文学学術院教授)

どなたもご聴講いただけます

問合せ先:千野拓政研究室 03-5286-3695 t-senno@waseda.jp